

経営・福原ゼミ有志13人 タイ、カンボジア訪問

経営学部・福原康司ゼミは、2015年から有志による夏合宿を東南アジアなどで実施している。16年から訪問先、スケジュールなど、すべてをゼミ生が企画し、現地の大学生と英語のワークショップを通じて交流し、商業施設や企業を訪問している。今夏は13人がタイとカンボジアを6日間訪ね、国際交流協定校のタイ商工会議所大学や現地企業の訪問が実現した。2人の体験記を紹介する。



交流会を終えて満ち足りた笑顔の学生たち

Practice Makes Perfect 習うより慣れろ

「今年の夏合宿はタイとカンボジアに行きたいなあ」ゼミの先生からそうつぶやかれ、合宿係の私は、期待よりも不安が脳裏をよぎりました。昨年先輩たちがベトナムのハノイにある国民経済大学との交流会を成功させたこと聞き、私はそれほど英語が堪能なわけではないからです。本学の国際交流事務課スタッフに窓口になっていただき、バンコクにあるタイ商工会議所大学との交流会が決定しました。合宿前から何度も向こうの学生たちと連絡を取り合い、その内容を詰めていきました。緊張をほぐ

「今年度の夏合宿はタイとカンボジアに行きたいなあ」ゼミの先生からそうつぶやかれ、合宿係の私は、期待よりも不安が脳裏をよぎりました。昨年先輩たちがベトナムのハノイにある国民経済大学との交流会を成功させたこと聞き、私はそれほど英語が堪能なわけではないからです。本学の国際交流事務課スタッフに窓口になっていただき、バンコクにあるタイ商工会議所大学との交流会が決定しました。合宿前から何度も向こうの学生たちと連絡を取り合い、その内容を詰めていきました。緊張をほぐ

So Many Countries, So Many Customs 所変われば品変わる

「今年度の夏合宿はタイとカンボジアに行きたいなあ」ゼミの先生からそうつぶやかれ、合宿係の私は、期待よりも不安が脳裏をよぎりました。昨年先輩たちがベトナムのハノイにある国民経済大学との交流会を成功させたこと聞き、私はそれほど英語が堪能なわけではないからです。本学の国際交流事務課スタッフに窓口になっていただき、バンコクにあるタイ商工会議所大学との交流会が決定しました。合宿前から何度も向こうの学生たちと連絡を取り合い、その内容を詰めていきました。緊張をほぐ

「今年度の夏合宿はタイとカンボジアに行きたいなあ」ゼミの先生からそうつぶやかれ、合宿係の私は、期待よりも不安が脳裏をよぎりました。昨年先輩たちがベトナムのハノイにある国民経済大学との交流会を成功させたこと聞き、私はそれほど英語が堪能なわけではないからです。本学の国際交流事務課スタッフに窓口になっていただき、バンコクにあるタイ商工会議所大学との交流会が決定しました。合宿前から何度も向こうの学生たちと連絡を取り合い、その内容を詰めていきました。緊張をほぐ

古宮 慶志郎(経営3)

「今年度の夏合宿はタイとカンボジアに行きたいなあ」ゼミの先生からそうつぶやかれ、合宿係の私は、期待よりも不安が脳裏をよぎりました。昨年先輩たちがベトナムのハノイにある国民経済大学との交流会を成功させたこと聞き、私はそれほど英語が堪能なわけではないからです。本学の国際交流事務課スタッフに窓口になっていただき、バンコクにあるタイ商工会議所大学との交流会が決定しました。合宿前から何度も向こうの学生たちと連絡を取り合い、その内容を詰めていきました。緊張をほぐ

「今年度の夏合宿はタイとカンボジアに行きたいなあ」ゼミの先生からそうつぶやかれ、合宿係の私は、期待よりも不安が脳裏をよぎりました。昨年先輩たちがベトナムのハノイにある国民経済大学との交流会を成功させたこと聞き、私はそれほど英語が堪能なわけではないからです。本学の国際交流事務課スタッフに窓口になっていただき、バンコクにあるタイ商工会議所大学との交流会が決定しました。合宿前から何度も向こうの学生たちと連絡を取り合い、その内容を詰めていきました。緊張をほぐ



美演しながら作り方を指導する学生

子どもたちがモザイクアートに挑戦

ネットワーキング情報部の小林プロジェクトが川崎市岡本太郎美術館と連携したワークショップ「モザイクアートを作ろう」が8月11、12の両日、同美術館で行われた。3年次生9人が企画立案、広報、準備、開催当日の運営などに取り組み、子どもたちに夏休みの思い出を提供した。

岡本太郎美術館で ワークショップ

同美術館が開催した「スターを製作した。用「街の中の岡本太郎」を意識した170人分のコピーアートの世界」(7/9月)の一環として企画。モザイクアートの撮影コーナーを設けた。岡本太郎にちなみ、参加者は木製コースターの中央にカラフルなタイルを配置し、オリジナルコピーアートと打ち合わせを

重ね、プロモーション班、ワークショップ班に分かれて活動。プロモーション班でツイッター、インスタグラムを使った広報を行った古川稜子さんは「コメントや『いいね』の数など反応はよく、SNS利用の効果を実感した」と語った。プロジェクトリーダーの高橋知也さんは「参加者が楽しそうに創作し、出来上がったコースターを大事そうに抱えて帰る姿を見てうれしかった」と充実した表情を見せた。

ネット情報・栗芝プロジェクト 災害時用段ボール椅子を考案

耐衝撃性に優れた段ボールに、少し手を加えるだけで災害避難時の椅子ができる。ネットワーキング情報部の栗芝プロジェクトが段ボール椅子を考案した。備蓄用ペットボトルが入っていた段ボールを再利用するので、その場で作ることができるのも利点。学内外のイベントに出展し好評だった。メンバ「は「さらに進化させた」と意欲を燃やす。



▲▶ 耐久性を確認する学生

製作に必要なものはシン目カッターとハサミ。500ミリサイズの段ボール24本入りの段ボールを使用した。段ボールは、開き、切れ目を入れ、折りたたむなどして数十分で椅子に変身する。内部の折りたたみ部分を増やし耐久性を高めた。「体重70kgの人が立って乗っても崩れない。使うことにより湿気を吸うが、3日間持続して使えます」とプロジェクトリーダーの黒澤恭平さん(3年次)。

商・渡辺ゼミ企画 多摩区 フォトコンテスト作品募集中

「多摩区は生田緑地、多摩川など自然豊か。学生が気軽に楽しめる個性豊かな店も多くある。コンテストを企画し、作品を募集している。昨年に続いて2回目規模を拡大して実施。川崎市、多摩区、多摩区商店街連合会、日本女子大学(SAKURABO)との共催。渡辺ゼミ生は「多摩区を愛するすべての人に応募してほしい」と呼びかけている。



ポスターを手に募集を呼び掛ける渡辺ゼミ生

「3枚の写真(つなぐ、あなたと多摩区の物語)が主題。観光、自然、商業をテーマに写真3枚一組で表現する。撮影エリアは多摩区全域に広げた。渡辺ゼミは地域マーケティングとまちづくりの研究を行っている。コン

「多摩区は生田緑地、多摩川など自然豊か。学生が気軽に楽しめる個性豊かな店も多くある。コンテストを企画し、作品を募集している。昨年に続いて2回目規模を拡大して実施。川崎市、多摩区、多摩区商店街連合会、日本女子大学(SAKURABO)との共催。渡辺ゼミ生は「多摩区を愛するすべての人に応募してほしい」と呼びかけている。

「座り心地がよい」と好評だった」と手応えを感じている。栗芝プロジェクトでは今、さらに工夫を重ね、段ボール椅子を連結したタテ2段重ねやベッドの製作に取り組んでいる。